

27PB-am095

青しそ抽出液配合美容液によるヒト有用性評価

○吉岡 涼介¹, 奥川 洋司¹, 丸茂 愛¹, 石澤 太市¹, 金谷 裕敏¹, 綱川 光男¹, 谷野 伸吾¹ (1バスクリン)

<目的>近年、紫外線対策への意識が高まるとともに、シミやくすみを予防することに対する関心が高まっている。我々は薬用植物由来の美白に有用な素材としてシソに表皮細胞における“メラノソーム取り込み阻害作用”を見出した。さらに、活性成分の1つを特定し、その活性成分を高含有する独自の青しそ抽出液を開発した。細胞レベルでは既存の美白成分との組合せにより美白作用が高まることを確認した。今回は、青しそ抽出液配合美容液によるヒト使用効果を検証した。

<方法>試験責任医師が被験者として適切であると判断した老人性色素斑を有する女性(平均年齢:48.0 ± 4.1)22名について、試験品を毎日朝と夜の1日2回(0.4~0.6g/回)を9週間使用した。2016年2月から4月にかけて試験を実施した。使用前、4週目、9週目において、頬部のCorneometer、Mexameter、分光測色計、VISIA(顔の皮膚画像解析システム)による測定や主観評価を実施した。尚、Mexameter、分光測色計ではシミ部位とその周辺地肌部位の2箇所を測定した。

<結果>Corneometer、VISIA(シミスコア、しわスコア、ヘモグロビンスコア)の測定では使用前と比べ、9週目で有意な改善が認められた。Mexameterの測定では使用前と比べ、シミ部位の4週目のメラニン値と9週目のエリスマ値で有意な改善が認められた。主観評価では肌のシミやくすみの項目において改善が見られた。

<考察>本試験により、青しそ抽出液配合美容液の使用で、美白関連指標の有意な改善が認められた。エリスマ値とL*値には負の相関が認められ、今回のエリスマ値の減少は、肌の明度を高めることに繋がったと考えられた。また、主観評価の改善も見られたことから、主観と客観のいずれにおいても青しそ抽出液配合美容液による有用性が示された。